

～精神疾患は三大疾患の一つ～
こころの健康推進をわが国の基本政策に



こころの健康政策構想実現会議

2011年 4月 13日 第 9号

100万人署名推進ニュース

- 発行人：こころの健康政策構想実現会議
- 連絡先：〒337-0026 埼玉県さいたま市
見沼区染谷 1177-4 やどかり情報館
100万人署名推進委員会
TEL. 048-680-1891 FAX. 048-680-1894
E-mail cocoro-syomei@mbf.nifty.com
URL <http://www.cocoroseisaku.org/>

◆東日本大震災下での現地経過報告(福島県相馬市から)

3月11日の東日本大震災の状況は目を覆いたくなるような災害を引き起こしましたが、早1か月が経過しました。実現会議のメンバーもさまざまな形で現地に入り、活動を始めています。しかし、被災地の再生に向けての営みは始まったばかりで、高齢の方、障害を持たれている方、特に私達に関係する精神の病を抱えておられる方々およびそのご家族がどのような日々を送られているのか、とても気がかりです。

被災地の厳しい状況の中、文字通り連日連夜、現地で精神障害者のケアを対応されておられる福島県南相馬市にあった小高赤坂病院の臨床心理士の須藤さんからご連絡をいただきました。須藤さんは1000人委員としてこころの健康政策構想実現会議の取り組みにご協力いただいている方です。福島原子力第一発電所の関係で小高赤坂病院の患者さんの多くは都内の病院に転院されています。須藤さんは現在、ウィークディは相馬の仮事務所で寝泊まりし、週末実家に戻るといった生活をされておられるようです。原発の避難地域がどうなっていくのか不透明な中、動きにくい状況とのことです。地元の医師のお手伝いをしつつ、地域の相談支援事業を立ち上げるべく準備中です。また民医連の人たちが精神科医療の確保に動き始めているようです。

4月初めに震災時、病院からなにも持ち出せなかったもので、中古のPCを送ってもらえないかという連絡があり、当事者・家族委員の有志からパソコン、プリンターなど送付した経過があります。

そのお礼と共に、現地レポートを送っていただきました。ここでは原文をそのままご紹介させていただきます。

増田一世様

お世話になっております。小高赤坂病院の須藤です。今までメールを読むことができませんでした。中通り・石川町の実家でやっとネット環境が整いました。この度は、パソコンやプリンターを提供していただき、本当に有難うございます。ご協力くださった皆さまに、くれぐれもよろしくお伝えください。現在、私は相馬市で相談支援ボランティアとして動いています。相馬地区の現状についてご報告します。

原発被害により、浜通り北部からは精神科がなくなりました。午前中は避難所の巡回、午後は公立病院で臨時精神科外来に立ち会っています。県立医大看護学部の協力も得られることになり、当初と比べると動きやすくなりました。ですが実際のところは、外来がパンクすると困るため、保健所が受診者を統制しています。しかも、作業所につながっている当事者の方の受診が多く、在宅もしくは閉鎖中の作業所に通っている方の来院が大変少ない状況です。相馬市だけでなく、今後は南相馬市の当事者にも目を向ける必要があります。また、種々のストレス反応が懸念されるのもこれからです。精神科フォローの体制を今まで以上に充足させることが急務だと思われれます。週末しかPCメールを読むことができませんが、皆さまに力をお貸しいただき、この事態を乗り切りたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

小高赤坂病院臨床心理士 須藤康宏

◆第2次署名集約日

先日もメールで連絡しましたが、下記の要領で署名集約作業を行います。何しろ人手が必要です。お声かけいただき大勢の方にご参加いただけますようお願いいたします。何人くらいの方が参加いただけるか、メールでお知らせください。

- ・日時：4月16日 午後1時30分～5時30分
- ・場所：やどかり情報館（さいたま市見沼区染谷1177-4）
- ・メール：100万人署名推進委員会 <cocoro-syomei@mbf.nifty.com>